

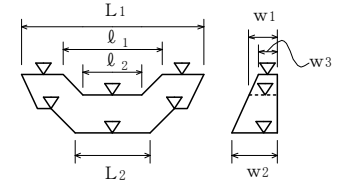
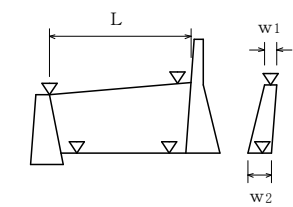
出来形管理基準及び規格値 第8編 砂 防 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	3 工 場 製 作 工	4		鋼製えん堤仮設材製作 工	部	±3…… ℓ ≤ 10 ±4…… ℓ > 10	
						材		部材長 ℓ (m)
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	8 コ ン ク リ ー ト え ん 堤 工	4		コンクリートえん堤本体 工	基 準 高 ▽	●△±30	
						天端部 堤 幅	w ₁ , w ₃ w ₂	●△-30
						水通しの幅 ℓ ₁ , ℓ ₂	●△±50	
						堤 長 L ₁ , L ₂	●△-100	
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	8 コ ン ク リ ー ト え ん 堤 工	6		コンクリート側壁工	基 準 高 ▽	●△±30	
						幅 w ₁ , w ₂	△-30	
						長 さ L	△-100	

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の寸法表示箇所にて測定。		8-1-3-4
図面の表示箇所にて測定。		8-1-8-4
1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。		8-1-8-6

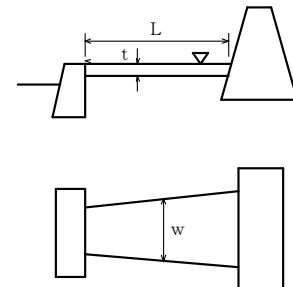
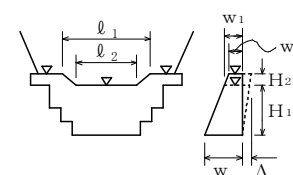
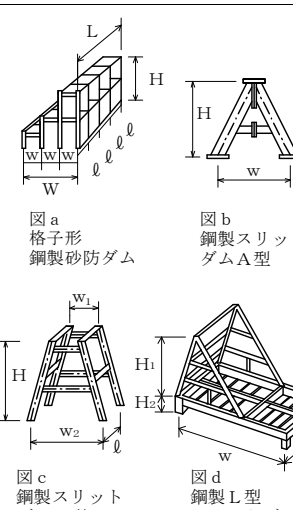
出来形管理基準及び規格値 第8編 砂 防 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	8 コ ン ク リ ー ト え ん 堤 工	8		水叩工	基 準 高 ∇	● Δ ±30	
						幅 w	Δ -100	
						厚 さ t	Δ -30	
						延 長 L	Δ -100	
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	9 鋼 製 え ん 堤 工	5	1	鋼製えん堤本体工 (不透過型)	水 通 し 部	堤 高 ∇	● Δ ±50
							長 さ l_1, l_2	Δ ±100
							幅 w_1, w_3	Δ ±50
							下流側倒れ Δ	Δ ±0.02H ₁
						袖 部	袖 高 ∇	● Δ ±50
							幅 w_2	Δ ±50
							下流側倒れ Δ	Δ ±0.02H ₂
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	9 鋼 製 え ん 堤 工	5	2	鋼製えん堤本体工 (透過型)	堤長L 格	Δ ±50	
						堤長 l 格 B・L	Δ ±10	
						堤幅W 格	Δ ±30	
						堤幅w 格 A・B・L	Δ ±10	
						高さH 格 A・B・L	Δ ±10	

●：出来形管理図表を作成する。

Δ ：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		8-1-8-8
1. 図面の表示箇所測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		8-1-9-5
(備考) 格：格子型鋼製砂防ダム A：鋼製スリットダム A型 B：鋼製スリットダム B型 L：鋼製スリットダム L型		

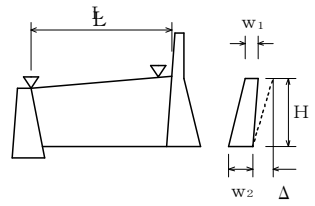
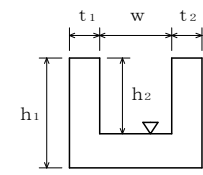
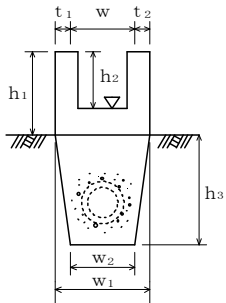
出来形管理基準及び規格値 第8編 砂防編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
8 砂 防 編	1 砂 防 え ん 堤	9 鉄 製 え ん 堤 工	6		鋼製側壁工	堤 高 ∇	$\triangle \pm 50$
						長 さ L	$\triangle \pm 100$
						幅 w_1, w_2	● ± 50
						下流側倒れ Δ	$\triangle \pm 0.02H$
						高さ h	h < 3m
	h \geq 3m	$\triangle - 100$					
8 砂 防 編	2 流 路	5 床 固 め 工	8		魚道工	基 準 高 ∇	± 30
						幅 w	-30
						高 さ h_1, h_2	-30
						厚 さ t_1, t_2	-20
						延 長 L	-200
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	6 山 腹 水 路 工	4		山腹明暗渠工	基 準 高 ∇	● ± 30
						厚 さ t_1, t_2	$\triangle - 20$
						幅 w	$\triangle - 30$
						幅 w_1, w_2	$\triangle - 50$
						高 さ h_1, h_2	$\triangle - 30$
						深 さ h_3	$\triangle - 30$
						延 長 L	$\triangle - 200$

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1. 図面に表示してある箇所にて測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		8-1-9-6
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 ヶ所。なお、製品使用の場合は、製品寸法については規格証明書等による。		8-2-5-8
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 ヶ所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 ヶ所。		8-3-6-4

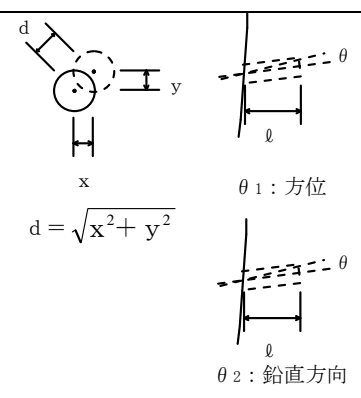
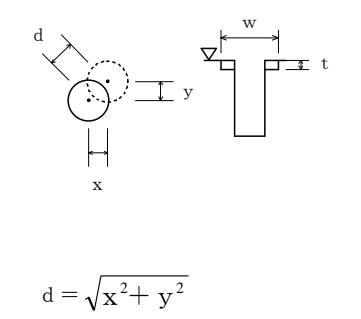
出来形管理基準及び規格値 第8編 砂 防 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	7 地 下 水 排 除 工	4		集排水ボーリング工	削 孔 深 さ l	●設計値以上
						配 置 誤 差 d	●100
						せん孔方向 θ_1 (方位)	$\Delta \pm 2.5$ 度
						せん孔方向 θ_2 (鉛直方向)	$\Delta \pm 2.5$ 度
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	7 地 下 水 排 除 工	5		集水井工	基 準 高 ∇	● ± 50
						偏 心 量 d	●150
						長 さ L	● -100
						巻 立 て 幅 w	$\Delta -50$
						巻立て厚さ t	$\Delta -30$
8 砂 防 編	3 斜 面 対 策	8 抑 止 杭 工	6		合成杭工	基 準 高 ∇	● ± 50
						偏 心 量 d	● $D/4$ 以内 かつ 100 以内

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全数	 <p>$d = \sqrt{x^2 + y^2}$</p> <p>θ_1: 方位 θ_2: 鉛直方向</p>	8-3-7-4 せん孔方向 θ_1 (方位)の直接測定が困難な場合は、監督職員と協議の上、現場でのせん孔方向の設定時の管理によってもよい。
全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 <p>$d = \sqrt{x^2 + y^2}$</p>	8-3-7-5
全数測定。		8-3-8-6